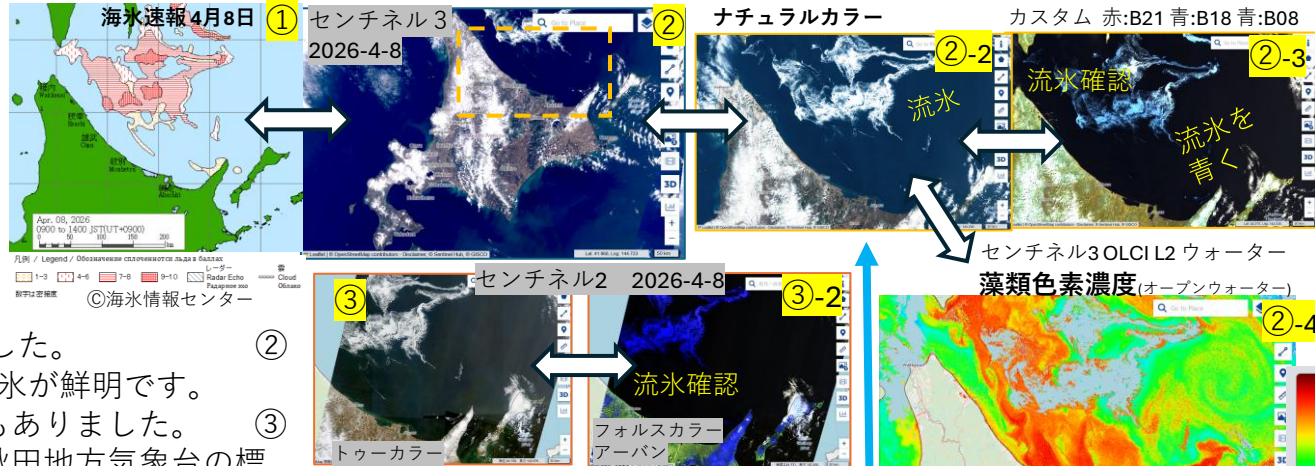


YACかわら版698

うみあけ

海明け

網走



4月8日の北海道は久しぶりに好天でした。

センチネル3画像は、山々に残る雪と流氷が鮮明です。

この日センチネル2の網走地域の観察もありました。

桜前線はどんどん北上しています。秋田地方気象台の標

本木は4月6日に開花。盛岡地方気象台の標本木は、4月7日に開花。

今年の北海道の桜開花は、平年より10日ほど早い開花となりそうだと報道されています。昨年の網走の開花は5月8日でしたが、今年の開花は4月18日との予報もあります。そんなことを考えながら4月8日の海氷速報と衛星画像とを比較していると、オホーツク海沿岸で流氷が見えなくなる「海明け(うみあけ)」はいつになるのかなと考えます。海明けが気になります

流氷観光砕氷船オーロラ号とガリンコ号の冬季運航は3月31日で終了しています。

海明けが近づいているオホーツク海をこれまでと異なるレイヤーで探ってみましょう。

センチネル3データを利用するとき、「センチネル3OLCI L1」のトゥルーカラーレイヤーを通常使用しています。

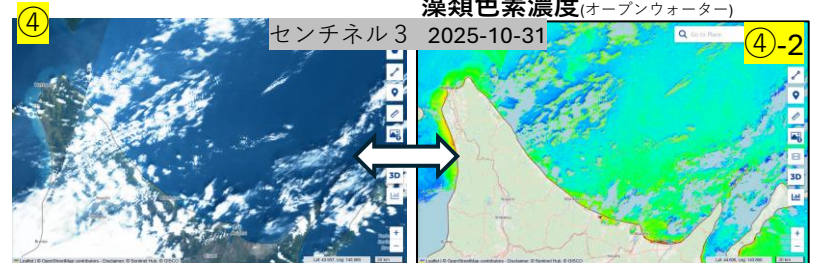
センチネル3データは、空間分解能は低いです、観測頻度が高くほぼ毎日観測データが更新されています。

コペルニクスブラウザでは「センチネル3 OLCI L2 ウォーター」の藻類色素濃度(オープンウォーター)レイヤーを使用することができます。センチネル3に搭載されている海洋および土地色彩計測器(OLCI)は、地球が反射する太陽放射を測定し、海洋環境を観測しています。②-4 流氷は海の恵みをもたらしているといわれます。

藻類色素濃度のレイヤーでオホーツク海の微細な藻類である植物プランクトンや、浮遊堆積物等を確認ができます。秋の終わり頃のレイヤー掲載しています。④-2

航空写真のようにみえる画像を多様な色合成のレイヤーを利用することで、考える翼を育むことができます。海明けのオホーツク海に注目です。

海氷関係の情報は海氷情報センターサイトに着目
<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN/1/1center.html>



| | | |
|------|------------------|-----------|
| 【網走】 | 結氷初日：2026年1月26日 | 結氷終日：---- |
| | 流氷初日：2026年1月26日 | 流氷終日：---- |
| 【羅臼】 | 結氷初日：2026年2月9日 | 結氷終日：---- |
| | 流氷初日：2026年2月2日 | 流氷終日：これから |
| 【根室】 | 結氷初日：2025年12月19日 | 結氷終日：---- |
| | 流氷初日：2026年3月14日 | 流氷終日：---- |

* 参照
YACかわら版671
流氷初日

流氷関係のこぼ

| | |
|------|--|
| 流氷 | 海水のうち、海を流れ、海岸に定着していないもの。ただし、国際的にはこのうち海水が凍結したものだけを流氷とすることもある。 |
| 流氷初日 | 視界外の海域から漂流してきた流氷が視界内の海面で初めて見られた日。 |
| 流氷終日 | 視界内の海面で流氷が見られた最後の日。 (注) 流氷の動向をしばらく見る必要があるため、確定までに日数がかかる。 |
| 海明け | 全氷量が5以下になり、かつ沿岸水路ができて船舶の航行が可能になった最初の日。 (注) 流氷の動向をしばらく見る必要があるため、確定までに日数がかかる。 |

流氷終日

| 海氷年 | 網走 |
|-----------|-------|
| 2020 | 4月4日 |
| 2021 | 3月23日 |
| 2022 | 3月25日 |
| 2023 | 3月12日 |
| 2024 | 4月2日 |
| 2025 | 3月23日 |
| 平年値 | 3月28日 |
| 1991~2020 | |